

プレス発表資料

平成26年6月5日
独立行政法人 防災科学技術研究所

「1964年新潟地震オープンデータ特設サイト」を開設 ～当時の空中写真とスナップ写真の公開～

独立行政法人防災科学技術研究所（理事長：岡田義光）は、1964年（昭和39年）6月16日に発生した新潟地震から50年の節目にあたって、当研究所が所蔵する空中写真とスナップ写真をオープンデータとして公開いたします。

防災科研では、防災科学技術に関する情報や資料の収集・整理・保管・提供を行っており、新潟地震に関しては、独自の調査資料、空中写真フィルム、多数の関連書籍を所蔵しています。公開する空中写真は、地図と重なるよう処理を施し、スナップ写真にも確認できる限り位置情報を付加して提供いたします。また、特設サイトは、当研究所で開発・提供している統合的情報活用基盤「eコミュニティ・プラットフォーム」で構築しており、現在の地図や空中写真と比較しながら閲覧することができます。

これらのデータの活用により、あらためて震災の経験を振り返り、将来に活かす端緒としていただくことを期待しております。

<http://ecom-plat.jp/19640616-niigata-eq/>

1. 内容：別紙資料による。
2. 本件配布先：文部科学記者会，科学記者会，筑波研究学園都市記者会
新潟市政記者クラブ，新潟県政記者クラブ、新潟新県政記者クラブ

「1964年新潟地震オープンデータ特設サイト」を開設 ～当時の空中写真とスナップ写真の公開～

1. はじめに

独立行政法人防災科学技術研究所（理事長：岡田義光）は、1964年（昭和39年）6月16日に発生した新潟地震から50年の節目にあたって、当研究所が所蔵する空中写真とスナップ写真をオープンデータとして公開いたします。

防災科研では、防災科学技術に関する情報や資料の収集・整理・保管・提供を行っており、新潟地震に関しては、独自の調査資料、空中写真フィルム、多数の関連書籍を所蔵しています。公開する空中写真は、地図と重なるようオルソモザイク処理（*1）を施し、スナップ写真にも確認できる限り位置情報を付加して提供いたします。また、特設サイトは、当研究所で開発・提供している統合的情報活用基盤「eコミュニティ・プラットフォーム」で構築しており、現在の地図や空中写真と比較しながら閲覧することができます。

これらのデータの活用により、あらためて震災の経験を振り返り、将来に活かす端緒としていただくことを期待しております。

サイト URL : <http://ecom-plat.jp/19640616-niigata-eq/>

The screenshot shows the website interface for the 1964 Niigata Earthquake Open Data. The header includes the site title and a map of Japan highlighting Niigata. The main content area is divided into a left sidebar with a menu, a central text area, and a right sidebar with a list of maps. The central text area contains a paragraph about the earthquake and a map titled '新潟市内カラー空中写真 (1964年6月撮影)'. The right sidebar lists various map types and data sources available on the site.

(*1) オルソモザイク処理:地図と重なるように補正を行った処理

2. 公開コンテンツ

1) 地震直後のオルソモザイク空中写真（図1, 図3, 図5）

国立防災科学技術研究センター（当時の名称。現・防災科学技術研究所）が地震直後に撮影した複数時期の空中写真ロールフィルムのスキャニングデータから作成したオルソモザイク空中写真（地図と重なるように補正を行った空中写真）です。

公開する空中写真は、ダウンロードして一般的な地理情報システム（GIS）上で地図と重ねて活用できるほか、地理空間情報分野における標準的な Web API（Web Map Service (WMS)、XYZ タイル等）を介して直接データにアクセスして活用することも可能です。

なお、特設サイトは、防災科研で開発・提供している統合的情報活用基盤「e コミュニティ・プラットフォーム」で構築しており、様々な地図や空中写真を扱うことができる地図ツール「e コミマップ」上で、地震直後の空中写真を現在の地図や空中写真と比較しながら閲覧することができます。

空中写真の公開範囲は、新潟市全域を中心に、村上市、佐渡市を順次公開予定です。

2) スナップ写真（図2, 図4, 図6）

国立防災科学技術研究センターの研究員が撮影した地上および機上からのスナップ写真です。撮影地点が確認できるものについては位置情報付きで提供いたします。

上記コンテンツの公開は、政府の高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部（IT 総合戦略本部）が平成 24 年 7 月 4 日に決定した「電子行政オープンデータ戦略」の考え方に則って行うものです。また、自由な利用および二次利用できるライセンス（クリエイティブ・コモンズ・ライセンス）として公開します。

特設サイト上では、新潟地震の概要の説明や、防災科研が所蔵している新潟地震に関連する調査報告、論文、書籍などのブックリストなどもあわせて公開します。

3. 新潟地震の概要と空中写真・スナップ写真で見る災害の状況

新潟地震では、地震の揺れによる被害をはじめとして、液状化現象や火災による被害も顕著でした。また、津波も観測されています。

<新潟地震の概要>

発生日時：1964（昭和 39）年 6 月 16 日 13 時 01 分

震央：38° 22.2' N 139° 12.7' E 深さ：34 km

震源域：粟島南西沖（新潟市から北北東 50 km）

規模：M = 7.5, 震度：5（当時の観測値）

被害概要：死者：26 人、傷者：447 人、建物全壊：1,960 棟、半壊 6,640 棟



図 1 : e コミマップによる昭和大橋付近の落橋時の空中写真と現在との比較。(左 : 1964 年 7 月 21 日、国立防災科学技術センター撮影、右 : 国土地理院の地理院タイルを利用)

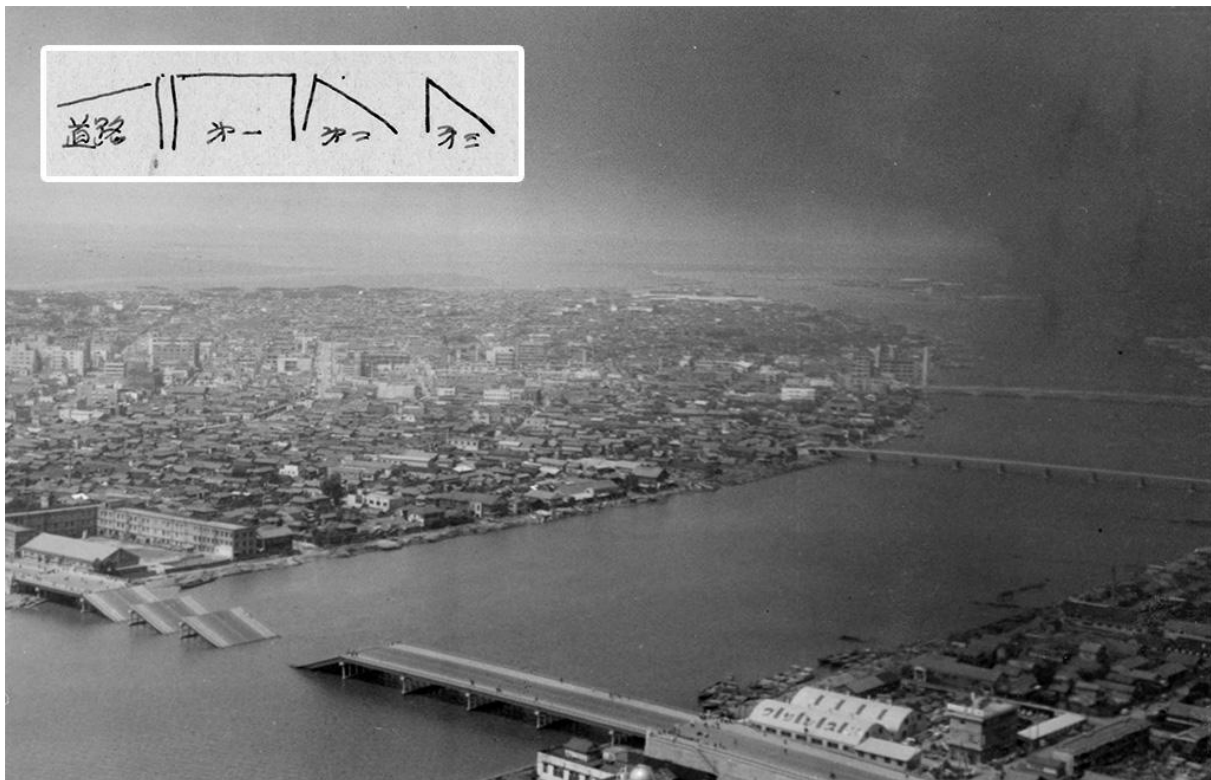


図 2 : 昭和大橋の落橋。左上は撮影者による落橋状況のスケッチ。右手の黒い煙は新潟製油所の火災。(1964 年 6 月 17 日、国立防災科学技術センター撮影)

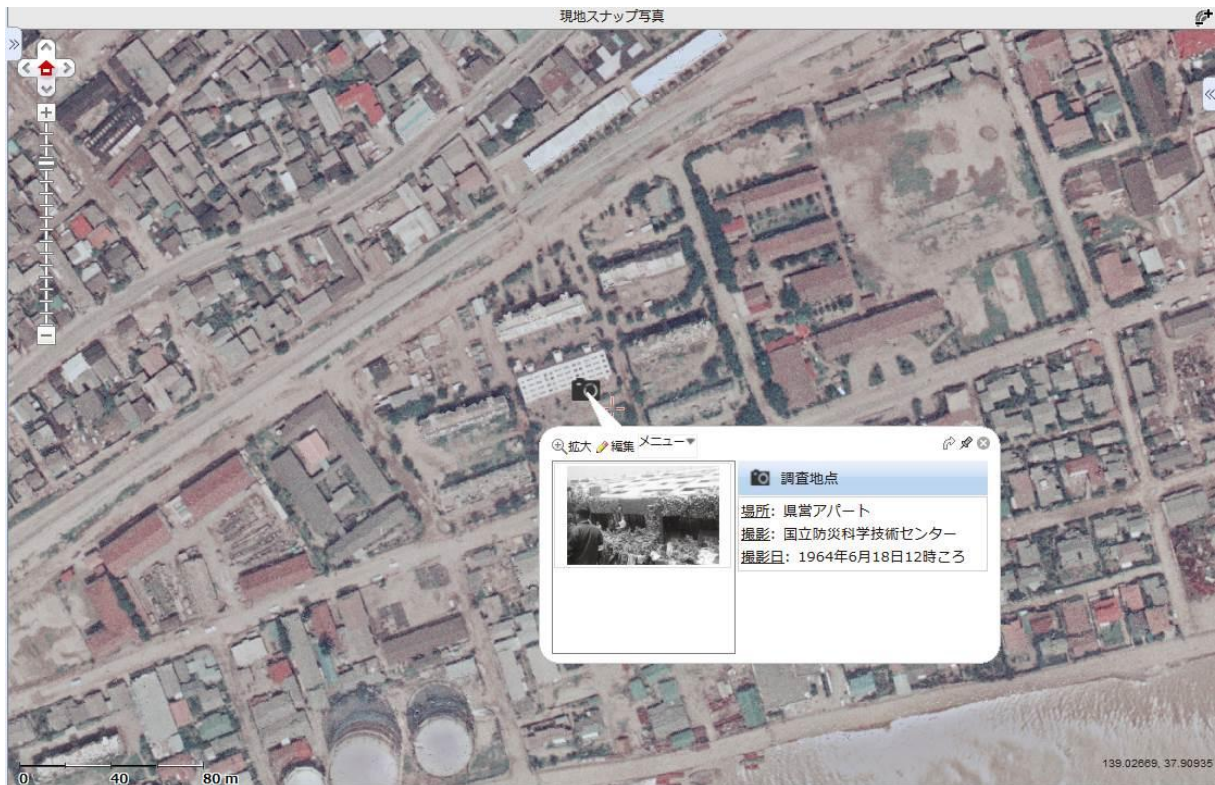


図 3 : 液状化により転倒した県営アパート（新潟市川岸町）付近の空中写真と e コミマップに地点をプロットした地上スナップ写真の表示（地図の背景画像は図 1 の空中写真）。



図 4 : 転倒した県営アパート 4 号棟の写真。建物の底部には敷き詰めた丸石が張り付いている（1964 年 6 月 18 日、国立防災科学技術センター撮影）



図5: 昭和石油新潟製油所付近の空中写真。約二週間燃え続けた火災が鎮火した後の状況(1964年7月21日、国立防災科学技術センター撮影)



図6: 昭和石油新潟製油所の火災。およそ二週間燃え続けたという。(1964年6月17日、国立防災科学技術センター撮影)

4. 今後について

この度開設する「1964年新潟地震オープンデータ特設サイト」では、未公開スナップ写真の整理と新たな空中写真データの整理ができ次第、順次、情報を追加する予定です。また、防災科研にて随時開催しているミニ企画展（参考1）でも、今回公開する空中写真や関連する資料の展示を行っており、手にとってご覧いただける資料を中心に、順次拡充して参ります。

防災科研では、災害に強い社会の実現に貢献することを目指し、これまでに収集・整理してきた様々な情報・資料について、これからもオープンデータとしての公開を進めて参ります。また、空中写真を含む各種災害リスク情報を利活用した災害対策手法や、「eコミュニティ・プラットフォーム」をはじめとした災害対策支援システムの研究開発を進めて参ります。今後の取組みにつきましては、（参考2）に示すWebサイトにて最新情報を随時発信いたします。

（参考1）. ミニ企画展のご案内



防災科研では、防災科学技術に関する情報や資料の収集・整理・保管・提供を実施しています。また、収集した資料を基礎として、過去の災害や直近に発生した災害に関して、随時ミニ企画展を行っています。現在、今回のオープンデータ公開に先立ち、新潟地震に関するミニ企画展を開催しており、当研究所が所蔵する新潟地震に関連する写真、調査報告、論文、書籍などの資料約70点を展示しています。月～金曜日9:30～17:00の自然災害情報室開室時間内はどなたでもご覧になれます。

（参考2）. 今回のオープンデータ公開に関連するWebサイト

自然災害情報室Webサイト：<http://dil.bosai.go.jp/>

災害リスク情報の利活用に関する研究プロジェクトWebサイト：<http://risk.ecom-plat.jp/>

「eコミュニティ・プラットフォーム」Webサイト：<http://ecom-plat.jp>